

所属 創造表現学部	職名 助教	氏名 加島 正浩	学位 博士（文学）	兼担している研究科 無し	
研究分野 文学、言語学およびその関連分野		研究分野のキーワード 日本文学一般、近代文学、現代文学、文化研究			
学歴					
2014年03月	明治大学 文学部 文学科 日本文学専攻 卒業				
2016年03月	名古屋大学大学院 文学研究科 日本文学講座 博士課程前期課程 修了				
2021年09月	名古屋大学大学院 文学研究科 日本文学講座 博士課程後期課程 修了				
職歴					
2018年03月	愛知淑徳大学 創造表現学部 創造表現学科 創作表現専攻 非常勤講師				
2019年03月	中部大学 人間力創成総合教育センター 非常勤講師				
2021年03月	東海学園大学 人文学部 人文学科 ライティング・センター 非常勤講師				
2022年04月	富山高等専門学校 一般教養科 助教 着任				
2025年03月	富山高等専門学校 一般教養科 助教 退職				
2025年04月	愛知淑徳大学 創造表現学部 創造表現学科 創作表現専攻 助教 着任				
Ⅰ 研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
終わっていない、逃れられない:〈当事者たち〉の震災俳句と短歌を読む	単著	2024年09月	文学通信		総計224頁
イタイイタイ病学 自主講座 第Ⅱ期講義録	共著	2025年03月	能登印刷出版部	加島正浩・白山肇・金澤敏子・林豊治・畑明郎など	45頁～65頁
学術論文					
「被災地」を前にした小説には何が可能なか―北条裕子「美しい顔」における問題点と可能性	単著	2021年06月	人文×社会 2		53頁～69頁
区域外避難者の〈孤独〉を詠む―原発「事故」以後の大口玲子の短歌に着眼して	単著	2021年11月	名古屋大学国語国文学 114		49頁～65頁
「制度」への疑義―野草社と『80年代』における中尾ハジメ、アイリーン・スミスの仕事を中心に	単著	2022年03月	原爆文学研究 20		206頁～221頁
「汚染」された言葉との闘い―福島県の詩人若松丈太郎を通じて―	単著	2023年11月	日本近代文学 109		135頁～149頁
‘약자 남성’이 가해자로 전환되는 순간: 니시 가나코『날이 새다』론／「弱者男性」が加害に転じるとき―西加奈子『夜が明ける』論	単著	2026年02月	숙명인문학연구소(淑明人文研究所) 횡단인문학(横断人文学) 22		129頁～170頁
学会発表					
運動体としての野草社―『80年代』・『自然生活』の分析を中心に―	単独発表	2021年12月	第65回原爆文学研究会(オンライン)		
何が「震災後」の問題なのか―和合亮一と若松丈太郎の詩の比較を通じて	単独発表	2022年03月	西安日本学研究会 第31回例会(オンライン)		
女性「闘士」の空白―千刈あがた「樹下の家族」論	単独発表	2023年03月	2022年度日本近代文学会北陸支部・名古屋大学・金沢大学合同研究会(金沢大学)		
岩倉政治とイタイイタイ病	単独発表	2024年02月	一般公開セミナー「ひとり・がたり―公害の記憶と記録の交差点から―」(熊本大学)		
分断と付度の外側―大牧広の「社会性俳句」の分析を通じて	単独発表	2024年03月	日本近代文学会東海支部 2023年度シンポジウム(第76回研究会)(愛知学院大学)		
なぜイタイイタイ病は「文学」で描	単独発表	2024年06月	イタイイタイ病研究会「イタ		

かれなかったのかー岩倉政治「尋問」を中心にー			イイタイ病学第Ⅱ期」第1回(富山県民共生センターサンフォルテ)		
震災の〈事実〉に短歌の〈私〉はどう関わるかー斉藤斎藤『人の道、死ぬと町』を中心に	単独発表	2025年02月	2024年度日本近代文学会北陸支部大会「短歌・俳句における当事者性と越境の問題」(金沢大学)		
〈名づけられない〉関係の表象可能性ー西加奈子『夜が明ける』を通じて	単独発表	2025年07月	淑明女子大学・名古屋大学シンポジウム「共生と共存のための想像力」(名古屋大学)		
「核の時代」の小劇場演劇ー「小劇場ブーム」における終末論的表象	単独発表	2025年08月	第75回原爆文学研究会(広島大学)		
作品・制作等					
その他業績					
【書評】今月のオススメ市川沙央『ハンチバック』	単独	2023年11月	元気の出る情報・交流誌手をつなぐ(813) 29	加島正浩	書評
【書評】栗山雄佑『〈怒り〉の文学化ー近現代日本文学から〈沖縄〉を考える』	単独	2024年02月	原爆文学研究 22号	加島正浩	書評
【書評】反原発を生きるー砂山信一歌集『珠洲の海』を読む	単独	2025年03月	月刊「うた新聞」156号	加島正浩	書評
Ⅱ 学会等における主な活動					
受賞					
所属学会					
2016年04月～現在	日本社会文学会			2019年07月～2022年07月 日本近代文学会 東海支部 幹事 2026年02月～現在 日本近代文学会 運営委員 2019年04月～現在 世話人 2022年07月～2024年02月『原爆文学研究』（21、22号）編集長 2021年06月～2023年06月 会務委員	
2017年04月～現在	日本近代文学会				
2017年04月～現在	原爆文学研究会				
2018年04月～現在	全国大学国語国文学会				
2018年04月～現在	日本文学協会				
2021年04月～現在	昭和文学会				
Ⅲ 社会活動					
Ⅳ 教育活動					
教育実践上の主な業績			年 月 日	概 要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)					
2 作成した教科書、教材、参考書					
東海学園大学人文学部ライティングサポートスタッフ及び「基礎演習Ⅰ」で使用する教科書の作成			2021年04月01日～2022年03月31日	上記期間、東海学園大学人文学部のライティングサポートスタッフとして勤務し、その間に人文学部1年生の必修科目である「基礎演習Ⅰ」で使用する教科書『大学生の学びー人文科学系・社会科学系のためのアカデミック・ライティング入門ー』を作成し、2022年度以降の「基礎演習Ⅰ」の授業で使用されている。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
5 大学運営					

V 資格・免許、特許等		
資格・免許		
2021年06月30日	中学校教諭 専修免許（国語）	
2021年06月30日	高等学校教諭 専修免許（国語）	
特許等		